

スウェーデンから音楽と笑いを届ける



被災地の人たちを励まそうとスウェーデン人のグスタフ・ストランデルさんが5月28日、船引運動場仮設住宅を訪れました。

日本とスウェーデン両国で福祉を学び、現在は介護福祉施設を運営するグスタフさんの意思に賛同し、同じスウェーデン人の手品師、マーティンさんとクラシックギタリストのフィリップさんも同行しました。

日本語も堪能なフィリップさんらの軽妙な語り口や楽しい演奏、ユニークな手品は、避難されている皆さんを励まし、会場内には笑顔があふれました。

中野区で元気な田村をPR

「花と緑の祭典2012春」が5月19日と20日、姉妹都市の東京都中野区で開かれました。田村市からは、森林組合や常葉・滝根振興公社、JAなどの職員が参加しました。

しそジュース「あぶくまの紫源郷」やカブトムシの幼虫、新鮮野菜、イワナの塩焼きなどを販売し、中野区の皆さんにとっても好評でした。また、あぶくまの天然水を無料で配り、特産品と観光のPRも行われました。

会場には福島県から中野区に避難されているかたも訪れ、福島を懐かしがっていました。



優勝旗を目指し、好プレー披露



第8回田村市長旗争奪野球大会が5月27日と6月3日の2日間、常葉・滝根運動場で開かれました。市野球協会に登録している15チームが参加し、トーナメントで熱戦を繰り広げました。

結果は次のとおりです。

優勝：日東粉化（滝根） 準優勝：道之内ハリケーン（都路）



なつかしい友と語り合う



ふるさとのおおごえ会の総会が6月3日、東京霞ヶ関の東海大学校友会館で開かれました。会員や来賓、市関係者の約50人が出席。総会では、役員の改選が行われました。

終了後の懇親会では、ふるさとのビデオが流され、会員の皆さんは懐かしい風景や昔のことを思い浮かべながら、思い出話に花を咲かせていました。会場ではふるさと産品が完売するなど、大盛況で閉会しました。

あぶくま大学が開講

滝根公民館事業の高齢者学級「あぶくま大学」の開講式が6月4日、天地人大学で行われました。116人が参加。第1回目は、滝根駐在所巡査長の防犯教室と県警察本部による高齢歩行者教育システム体験を行いました。

また、田村警察署小野分庁舎の署員3人が、最近の振り込め詐欺の手口を寸劇で紹介しました。

学級生は被害にあわないよう、メモを取っていました。



いざという時のために



常葉「寿学級」と都路「福寿草大学」の合同定例講座が、5月15日に都路行政局で行われました。講師には田村消防署の都路分署員を招き、非常時の対応を学びました。

参加者は火災や地震対策のビデオを見たあと、消火器の使い方を教わり、不明な点を熱心に質問していました。行政局の玄関前では、実際に水消火器の放水を体験し、わが身を守る初期消火の大切さを感じていました。